

DXによる低エネルギー需要社会とGXの実現の分析

秋元 圭吾

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー

■要旨／Abstract

主要先進国のCO₂排出量は低減傾向にあるものの、世界のCO₂排出量は引き続き上昇傾向が見られる。その中で早期のカーボンニュートラル実現を目指しており、その難しさを直視した上で、これまでと異なったアプローチも必要である。カーボンニュートラル実現そしてそのトランジションについて、各種不確実性を考慮した複数のシナリオを作成し、世界エネルギー・温暖化対策評価モデル DNE21+を用いて、経済効率的な世界および日本の部門別排出削減対策を提示する。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)による低エネルギー需要社会実現の可能性についても、エネルギーシステム全体として統合的かつ定量的な分析を行った試算結果について提示する。そして、グリーントランスフォーメーション(GX)の方向性について展望する。